

法政大学で出前講座

イメージアップ促進協と日建協

国土交通省と建設コンサルタントや測量関係などの建設関連団体で組織する「建設関連業イメージアップ促進協議会」(促進協)と、日本建設産業職員労働組合協議会(日建協、田中宏幸議長)は14日、東京都新宿区の法政大学で、デザイン工学部都市環境デザイン工

学科の学生にそれぞれ業界の説明会と出前講座を行った。講義の一環として3年生約90人が参加。促進協は、測量、建設コンサル、地質調査といった土木系建設関連業の仕事など、日建協は建設産業の役割や働きがいなどを紹介した。

学校向けの促進協の説明会、日建協の出前講座とも、15年度は同大学が最後の場となった。促進協はこれまでに15年度の



出前講座を富士教育訓練センターや、私立・国立大学で7回計画しており、法政大での講座で本年度の活動を締めくくった。この日は、加盟組合の東洋建設職員労働組合の代表が講師として参加した。

日建協の出前講座は14日午後、東京都新宿区の法政大学で

明会、日建協の出前講座とも、15年度は同大学が最後の場となった。促進協はこれまでに15年度の

で働く魅力を伝えたい」とをテーマにした15年度の出前講座を富士教育訓練センターや、私立・国立大学で7回計画しており、法政大での講座で本年度の活動を締めくくった。この日は、加盟組合の東洋建設職員労働組合の代表が講師として参加した。

日建協の出前講座には、日本建設業連合会(日建連)が協力しており、担当者が処遇改善や女性の活躍を後押ししている取り組みなどを紹介した。

すが、やりがいもあるなと思った」など感想を述べた。

説明会を私立・国立大学、工業高等専門学校計5校で実施してきており、法政大は6校目。国土交通省、全国測量設計業協会連合会、全国地質調査業協会連合会、建設コンサルタント協会の職員が、プロジェクトを使い、土木工事を支える仕事の内容とともに重要性、やりがいのアピールした。

日建協の担当者が建設産業の概要を紹介したのちに続いて、同社美浦研究所の竹中寛さんが、世界遺産の調査の取り組み、啓開をはじめとする災害時の緊急対応、最新の施工技術などを発表。竹中さんは、目指している技術者像も披露した上で、「(建設業には)若い皆さんの柔軟な力が必要です」と呼び掛けた。

日建協の出前講座には、日本建設業連合会(日建連)が協力しており、担当者が処遇改善や女性の活躍を後押ししている取り組みなどを紹介した。